



地域教育への取組

理事長 佐藤 一郎

本学は先進的地域貢献大学を標榜しており、卒業生は地元就職する割合が高く、その意味で、地域を学び未来に向かって地域社会で主体的に活躍する人材を育成することは、本学の重要な役割の1つであります。

こうしたことから本学では、2014年度に文部科学省の地(知)の拠点整備事業の採択を機に、地域教育を体系的に整備し、今春から四国大学地域教育プログラムをスタートさせました。

まず、全学共通教育では既設地域学分野に地域未来探求と地域創生入門の2科目を新設し、専門教育では各学科等ごとに地域志向型専門科目を選定しました。更に自

由科目として地域貢献ボランティア活動ⅠⅡと地域企業等研究活動の3科目も新設しました。

地域未来探求と地域創生入門では、地域に対する愛着や関心を持ち、地域づくりに積極的に参加しようとする意欲の醸成に重点を置き、地域に興味を持ってもらえるテーマや誇れるもの・話題性のある教材が選ばれています。またグループワークやプレゼンテーションなどアクティブラーニングも取り入れています。

地域教育自由科目は、学生自らが学外等で行う地域貢献関連活動に対して活動時間を評価・累積して単位認定するもので、地域教育・連携センターが学生の活動を支援し、自己教育力シートの活用も促進します。

地域志向型専門科目では、専門知識や技術を地域の課題解決に応用することで、専門知識の定着や自律的な学修への意欲の向上をねらいとしています。

多様な地域関連の教育活動を一層効果的に推進するために、アクティブラーニング環境を整えた教室、学生が自由に使える学びのスペースまた地域創生多目的フォロワーなどを整備した全学共通・地域教育センター施設が4月に竣工しました。今後学生の皆さんが活動の場を広げ、本施設を有効に活用されることを期待しております。



魅力、そして特徴ある大学へ

学長 松重 和美

新年度を迎え、キャンパス内はフレッシュな新入生で満ちあふれています。今春には国際寮や全学共通・地域教育センター(愛称:SUDAchi館)も竣工しました。特に、旧2号(B)館を改修した後者には、四国大学スタンダードなどの“全学共通教育”、先進的地域貢献大

学としての“地域教育”や地域連携を一層進める拠点があり、また館内部はガラス張りの部屋も多く、その明るい雰囲気には驚かれると思います。卒業生の方々も是非機会があれば訪問して頂ければと思います。

さて、地方の私立大学にあって昨今の18歳人口の減少は厳しい環境要因ですが、幸いにも本学はこの数年間入学者数は増加の傾向を示し、今春は昨年度に比べ75名も増えました。多くの留学生に加え、特に女子のバレー・サッカー・ソフトテニスなどのスポーツ分野で約50名の入学生があり、今後国内トップやオリンピックを目指して活躍してほしいと思っています。

大学は有能な人材育成の場、新たな取り組み・情報発信の拠点でもあり、「大学改革ビジョン2017」の開始も含め、ますます魅力ある、そして特徴ある大学を目指していきたいと思っています。

父母会だより



父母会会長あいさつ

父母会会長 中川 恭子

父母会役員を代表して御挨拶申し上げます。父母会会員の皆様におかれましては、日頃、大学の振興に御尽力を賜り、心より敬意と感謝を申し上げます。また、本学教職員、学校関係者の皆様には、手厚い御指導を頂き、厚くお礼申し上げます。

去る4月3日、本学入学式が盛大に挙行されました。3月下旬の寒さで開花が待ち遠しかった桜も、この日に合わせるように開花しました。父母会入会式には、多くの御父母の方に御出席頂いたことを大変嬉しく思います。

早いもので一ヶ月が経ち、季節が新緑の眩しい季節になりました。大型連休には地元へ帰省したり、大学時代の友達と会ったりと、思い思いの時間を過ごしたのではないのでしょうか。ゴールデンウィークと呼ばれる大型連休は、「昭和の日」「憲法記念日」「みどりの日」「こどもの日」と祝日が続きます。このように国が決めた祝日にはそれぞれの意味があります。そのような祝日にゆっくり身体を休めたり、楽しい時間を過ごしながらも、祝日に込められた意味を考えながら過ごすのも大切ではないかと思えます。

今年度も本学の学生の皆さんが希望を持ち、人間関係にも恵まれ、充実したキャンパスライフが送られますよう心より願っています。

父母会会員の皆様、理事長、学長、教職員、学校関係者の皆様には、今後共御指導の程よろしくお願い申し上げます。

平成29年度 父母会入会式

平成29年4月3日(月)11時15分から本学体育館において、入学式、オリエンテーションに引き続き、平成29年度父母会入会式が執り行われました。本年度入学された学生の保護者840名の皆様方のご臨席のもと、中川父母会会長のご挨拶を頂戴するとともに、大学側からは、松重学長からご挨拶をさせていただきました。

議事につきましては、父母会会則の概略説明等を行い、建学の精神「全人的自立」のもと、学生の皆さんが教育研究活動等の成果として、更なる成長を図るための援助や補助をお願いさせていただきました。

ご参加いただきました皆様方にお礼を申し上げますとともに、今後の諸活動へのご支援、ご協力をお願いいたします。



会長あいさつ



入会式の様子

平成29年度 父母会懇談会等日程

総 会

平成29年6月11日(日) 13:00～ 共通講義棟 R101教室
評議員会

第1回 平成29年6月11日(日) 10:30～ 本館4階 大会議室

第2回 平成29年11月11日(土) 10:30～ 本館4階 大会議室

例年開催している総会後の学科・専攻別面談については、それぞれに会場を設置し、各担当者より履修科目や国家試験等について、充実した説明の時間を設けています。

毎年ご参加いただいた保護者の皆様方からは、直接大学生活についての相談ができることや、進路決定に向けて、それぞれの個性に応じた効果的な話し合いができることから、大変有意義だったとの感想を頂戴しています。

是非、みなさまのお越しをお待ちしております。



平成29年度父母会総会



平成29年度地区別父母会(高松)



平成29年度父母会個人懇談(高松)

父母懇談会開催予定

開催地区	場 所	日 時
徳島県地区	四国大学各学科講義棟	6月11日(日)総会終了後
沖縄県地区	パシフィックホテル沖縄(那覇市)	6月25日(日)午前10:00～
香川県地区	ホテルパールガーデン(高松市)	9月9日(土)午前10:00～
中国地区	ホテルJALシティ広島(広島市)	9月10日(日)午前10:00～
高知県地区	土佐御苑(高知市)	9月2日(土)午前10:00～
愛媛県地区	いよてつ会館(松山市)	9月3日(日)午前10:00～

(後日該当地区の会員の皆様にご案内します)

平成29年度 四国大学入学式

平成29年4月3日(月)桜の花が咲き始め、暖かい日差しの中、大学院第19回、大学第52回、短期大学部第57回入学式が本学体育館にて行われました。

式では、松重学長が「社会・地域などで、活躍・貢献するために必要な知識と実践力を身につけてください」と激励の言葉を送りました。続いて、新入生を代表して、生活科学部管理栄養士養成課程坂東優衣さんが「学術の研究と人格の陶冶に努めます」と、誓いの言葉を述べました。式には、湘潭大学からの交換留学生と大学院経営情報学研究科および短期大学部ビジネス・コミュニケーション科、人間健康科介護福祉専攻3年コースに入学する留学生24名も出席し、

日本でのキャンパスライフへの期待に胸を膨らませていました。

入学を許可された大学院文学研究科3名、経営情報学研究科5名、人間生活科学研究科5名、看護学研究科5名、大学文学部116名、経営情報学部123名、生活科学部274名、看護学部105名、短期大学部231名の合計792名が、新たな学生生活をスタートさせました。

入学式終了後、各会場に分かれて教員から学生生活や学生サポート体制等についての説明等、学科別オリエンテーションに臨み、キャンパスライフへの希望を胸に新たな第一歩を踏み出しました。



新入生の声



立井 祐佳

研究会・フィールドワークなどにも参加していきたいと考えています。

■大学院文学研究科日本文学・書道文化専攻修士課程

私は卒論の際に大変お世話になった先生の下でさらに近世史の研究をしたく、四国大学院に入学しました。学部時代には経験できなかった先生方との密接な講義を通して、冷静かつ中立的な視点で歴史を見つめる力を養い、また、積極的に



木田 菊恵

■大学院経営情報学研究科博士前期課程

私は大学病院の看護師を長く勤め、昨年から民間病院の総合アドバイザーに就いています。患者と看護師双方の満足度を高める看護管理システムの実現に向け、情報学を探究する院生生活は、知的満足度を高め、新鮮で嬉しい毎日です。



小谷 航

■大学院人間生活科学研究科人間生活科学専攻修士課程

私が、大学院に進学を決めた理由は2つあります。1つ目は、大学時代の勉強や経験だけでは自分の強みがなく、社会に出たときに働けないと感じたからです。2つ目は、大学時代に学んだ栄養学とスポーツの関係について更に勉強したかったからです。大学院の2年間で多くの経験をし、知識を深め、人間的にも成長していきたいです。



藤川 勇実

■大学院看護学研究科看護学専攻修士課程

私は現在、徳島赤十字ひのみね総合療育センターで勤務しています。看護実践を行う上で必要な倫理観や看護観、看護課題への探求を行うための自己研鑽を図る必要があり大学院に入学しました。ワークライフバランスを図り、臨床看護に活かせる学びを深めたいと思います。



澤口 悠太

■文学部日本文学科

私には高校の国語の教員になるという夢がある。そのためにこの四年間は全力を尽くして専門知識や一般教養を身につけ、視野の広い大人になりたいと思う。様々な人と書物に接することにより、社会や人間の基礎を学び、将来はそれらを教育の場で活かしていきたい。長い学生生活の間には辛いことも傷つくこともたくさんあるだろう。しかし、ドロップアウトや絶望もまた、成長のための大切な糧であると考えている。



田中つぐみ

■文学部書道文化学科

「この大学何かいいな」…いくつか大学を見て回り、初めて心惹かれたのが四国大学でした。緑に包まれ吉野川を間近に望むことのできるキャンパスは、大都会のような息苦しさも無く、芸術に励むのに最適であると感じました。限られたこの4年間に、学生らしく進んで沢山の事を学び、将来は書家として活躍できるよう基盤を作っていきたいと思っています。



伊藤 祐里

■経営情報学部経営情報学科

高校時代、同じお店でも地域によって売っている商品や配列が違うことを聞きました。その話を聞いてから今までは、違った目線での買い物の楽しさや様々な角度からの物の見方などに関心を持ち、経営について学びたいと思い進学しました。進路は、まだ未定ですがこれから、四国大学で学びながら考えていこうと思っています。



松井 祐樹

■経営情報学部メディア情報学科

情報化が進む今日、高校では深く扱わない情報分野についての知識を身につける必要があると考え、メディア情報学科への進学を決めました。専門性の高い講義についていけるのかという不安はありましたが、基礎から学べる環境が整っているので、「情報化社会を支える一人になる」という夢のため、しっかりと勉強に励んでいきたいと思っています。



坂東 凌

■生活科学部生活学科

私は高校時代、人間関係で辛い体験を重ねていたところをスクールカウンセラーの先生に助けて頂き、無事卒業できました。この経験は私を、他者を支える人になりたいという思にへ駆り立て、本学科心理・養護コースで心理学を学ぶ決意をしました。今、心の専門家への一歩を踏み出しています。



盛 花音

■生活科学部児童学科

私には生まれ育ったこの徳島で一人一人の良さを伸ばし、子どもたちから自発的になれる環境をつくる教師になるという夢があります。そのために専門分野に学ぶだけでなく、自身の技術も向上させることができると思いこの大学を志望しました。様々なことに積極的に取り組み、たくさんの出会いを大切に幅広い人間関係を築いていきたいです。



安食 拓哉

■看護学部看護学科

私は患者の気持ちに寄り添った看護が出来るような看護師になりたいと思い本学を志望しました。講義では、看護に関する興味深い科目や身体の構造と機能を学ぶ演習がたくさんあり、看護について学ぶ日々がとても楽しいです。4年間、夢をかなえるために努力したいです。



坂東 美穂

■短期大学部人間健康科食物栄養専攻

私は、将来給食センターで働きたいため、食物栄養専攻を志望しました。近年、子ども達の「食生活の乱れ」をよく耳にします。2年間で食の知識と調理の技術をしっかりと身に付け、少しでも多くの子どもの、安全で健やかな食生活を届けられる栄養士になりたいです。



宮嶋 優次

■短期大学部音楽科

私が音楽科を志望した理由は、高校在学中に興味で始めたDTMを、趣味や独学の域に留まらず、より深く専門の先生から学びたいと思ったからです。これからの2年間で、多くの知識や技術を身につけることができるように、充実した学生生活を送りたいと思います。

スポーツ・芸術分野活動支援 — 技術・技能の向上と学業の両立をサポート —

スポーツ分野



女子ソフトテニス部へ 入部して

メディア情報学科 1年
山本 菜々子

私は四国大学に入学して、勉強とソフトテニスの両立を頑張っています。ソフトテニス部は2年生1人、1年生14人で活動しています。今年全国各地から集まっており、全員で「日本一」を目標に日々練習に取り組んでいます。そのために、常に努力し、技術はもちろんですが、精神面も鍛えていきたいです。そして、大学関係者の方やコーチをはじめ、多くの方々に支援して頂いているので、その期待に応えられるよう一生懸命頑張ります。



芸術分野



生活科学部生活科学科 デザインコースへ入学して

生活科学科 1年
南 絵里佳

大学では積極的に公募展に作品を出品することを心がけています。入学直後、すぐに放美展の制作に取り組み、放美展25周年記念賞を頂くことができました。高校時代では、全国の絵画コンクールや県展で入賞という結果を残すことができ、自分の新たな可能性を見出すことができました。そして、大学では自分らしい、自分を表現した作品作りに挑戦したいと思いました。自分の世界観を目一杯表現し、実現するために「個展」を開催することが大学生活においての目標になると考えます。しかし、個展の開催が最終的な“ゴール”ではなく、私の世界観を実現するための一つの通過点と考えています。そして将来、私の生み出したものが多くの人々の生活に役立つよう四国大学でデザインを学び、制作に励み努力していきたいと思っています。



平成28年度 四国大学学生研修活動奨励金授賞式

— 研修活動で活躍した学生をサポート —

本学の発展及び社会貢献に寄与した学生または団体に対し奨励金を給付し、課外活動で活躍する学生をサポートするため、四国大学（父母会・後援会・同窓会）研修活動奨励金制度が平成25年度に設置されました。平成29年2月17日（金）に本学にて父母会、後援会、同窓会長出席のもと選考委員会が行われ、申請された5団体、21個人（下表）が選考されました。

また、その授賞式が平成29年3月13日（月）に本学共通講義棟にて行われました。式では松重学長よりご挨拶があり、父母会長 中川恭子様、後援会長 島賢資様、同窓会長 木原容子様が来賓として紹介されました。その後、学長より表彰状及び目録が授与され、四国大学父母会・後援会・同窓会を代表して同窓会長 木原容子様より激励の言葉を頂きました。最後に受賞者を代表して吹奏楽クラブ高田真美子さんよりお礼のこたば

がありました。今回の各受賞者をはじめ研修クラブ所属学生には今後もさらなる活躍を期待します。



平成28年度 四国大学学生研修活動奨励金 受賞団体・受賞者一覧

(団体)		種類	成績・活動実績	
弓道	スポーツ活動	第25回山口放送旗西日本弓道大会	女子団体 3位	
女子サッカー	スポーツ活動	第67回四国地区大学総合体育大会	優勝	
バスケットボール(女子)	スポーツ活動	第67回四国地区大学総合体育大会	優勝	
吹奏楽	文化活動	第64回全日本吹奏楽コンクール全国大会	(銅賞) 四国支部大会(銀賞・四国代表)	
書道	社会貢献活動	徳島県議会との連携協定事業としての書道パフォーマンス		
(個人)		種類	成績・活動実績	
陸上競技	幸長 慎一	生活1年	スポーツ活動	世界ジュニア陸上競技選手権大会 8位入賞
陸上競技	波多 彩希	国際1年	スポーツ活動	第70回中国四国学生陸上競技対校選手権大会 女子ハンマー投 4位
陸上競技	村尾 菜優	生活2年	スポーツ活動	第39回中国四国学生陸上競技選手権大会 女子ハンマー投 第3位
陸上競技	原 みづ穂	児童2年	スポーツ活動	第70回中国四国学生陸上競技対校選手権大会 女子1000m競歩 8位
陸上競技	向井渉太郎	メディア2年	スポーツ活動	第67回四国地区大学総合体育大会 男子100m 3位
陸上競技	居川 汐里	経情4年	スポーツ活動	第70回中国四国学生陸上競技対校選手権大会 女子ハンマー投 3位
弓道	高橋 友紀	短大幼教1年	スポーツ活動	第62回中国四国学生弓道選手権大会 女子個人 最高の中者賞
弓道	辻 紀子	児童4年	スポーツ活動	第25回山口放送旗西日本弓道大会 女子個人の部優勝(2連覇)
ライフル射撃	筒井 順也	経情1年	スポーツ活動	第63回春季全関西学生ライフル選手権 第4位
ライフル射撃	日浦 典之	経情2年	スポーツ活動	第63回春季全関西学生ライフル選手権 第2位
水泳	藤井 愛花	児童1年	スポーツ活動	第67回四国地区大学総合体育大会 女子200m個人メドレー 4位
水泳	矢部 育美	児童2年	スポーツ活動	第67回四国地区大学総合体育大会 女子50・100m平泳ぎ 優勝
少林寺拳法	佐藤実樹子	児童4年	スポーツ活動	第6回少林寺拳法中国四国学生新人大会 第2位
書道	那須 彩乃	書道1年	文化活動	第21回全日本高校・大学生書道展 書道展大賞
書道	後藤 知美	書道2年	文化活動	第21回全日本高校・大学生書道展 書道展賞
書道	山下 千聡	書道3年	文化活動	第21回全日本高校・大学生書道展 書道展大賞
書道	井上 映季	書道3年	文化活動	第21回全日本高校・大学生書道展 書道展賞
書道	米澤 淳美	書道3年	文化活動	第21回全日本高校・大学生書道展 書道展賞
書道	米澤 優香	書道3年	文化活動	第21回全日本高校・大学生書道展 書道展賞
書道	渡邊 浩樹	書道3年	文化活動	第21回全日本高校・大学生書道展 書道展賞
書道	杉本 佑夏	書道4年	社会貢献活動	書道パフォーマンスによる社会貢献活動(県議会、徳島ビジネス・チャレンジメッセ等)



留 学 生 の 声

米国サギノーバレー州立大学(SVSU)より5名、中国湖南省湘潭大学(XTU)より1名留学
四国大学短期大学部外国人留学生3年コース22名(B.C科10名 介護福祉専攻12名)入学



ソン ショブン
孫 孜文
(中国)

◆大学院 経営情報学研究科
四国大学に来て、一ヶ月近く経ちます。経営情報学研究科の大学院生として授業を受け始めて、もう二週間です。四国大学の先生方は優しく、授業の雰囲気もよく、勉強するのにとても良いところだと思います。大学の先生方は知識だけでなく、どんなことでも親切に、熱心に教えてください、日本の学生たちも何でも助けてくれます。大学には、色々な国から来た留学生もいるので異文化交流に最適な環境だと思います。四国大学へ来る前、初めての場所で一人、生活することを心配していました。しかし、「百聞は一見にしかず」心配はいりません。今、私はこの言葉を心から愛しています。



サマンサ ゲファート
Samantha Geffert
(アメリカ)

◆サギノーバレー州立大学 交換留学生
私はSVSUで、英語教育を勉強しています。将来、アメリカとアメリカ以外の国で英語を教えることが夢です。日本語を勉強したいと思った理由は、もっと深く日本人とコミュニケーションを取りたいと思ったからです。四国大学では、日本語をより上手に話せるになりたいので、たくさん日本人の友達を作りたいです。私は子供の頃、日本のアニメを見るのが好きでした。現在は、日本の伝統的な美術、音楽、文化に興味があります。留学期間中は、私の一番好きな日本食を食べたり、徳島のいろんな場所に行ったりしたいと思っています。その中でも、夏に開催される阿波おどりは私の行ってみたいお祭りの一つです。



リ カ
李 珂
(中国)

◆湘潭大学 交換留学生
交換留学生として四国大学に来て、あっという間に一ヶ月が経ちました。この一ヶ月間、みなさんは親切に接してくれ、本当にお世話になっています。心より感謝申し上げます。一人、海外で暮らすのは寂しくないだろうか、日本の生活に慣れるだろうかと最初は色々なことを心配していましたが、今は全然そう思いません。私の親はそばにはいないですが、私にとって四国大学の先生方や学生は、もはや家族みたいな存在です。何があっても誰かが手伝ってくれるので、寂しい気持ちはちょっとありません。これからの一年間、日本語能力を向上させるだけでなく、日本文化もしっかり勉強したいと思います。今後、日中の文化交流のために力を尽くしたいと思います。



チョウ ケイ ヨウ
張 啓揚
(香港)

◆人間健康科 介護福祉専攻
東京の日本語学校で一年半勉強して、四国大学短期大学部の人間健康科に入学しました。どうして四国大学を選んだかという、豊かな自然に恵まれている徳島に立地し、東京ほど騒がしいところではなく、落ち着いた環境で集中して勉強することができるからです。四国大学に来て早一ヶ月、国際課の職員の方々は、学習面、また生活面での支援をしっかりとくださり、何でも相談に乗ってくださるので、すぐに新しい大学生活に溶け込むことができました。また、学費の減免制度や奨励金制度、日本語の授業などの留学生向け学修支援も充実しているので、伸び伸びと勉強することができます。四国大学を選んで良かったと思っています。これからの三年、充実した生活を送るために、学習や様々な活動に積極的に取り組んで頑張っていきます。



ユ コクペイ
于 国平
(中国)

◆人間健康科 介護福祉専攻
人間健康科介護福祉専攻の留学生として四国大学に来て、もうすぐ一ヶ月になります。すばらしい大学で、先生方のご指導のもと毎日充実した大学生活を過ごしています。この大学に入学したおかげで、新たな人生の一步を踏み出すことができました。これから三年間、みなさんと一緒に日本語や専門知識、技能を身につけるために、一生懸命勉強します。私の将来の夢は、日本で就職することです。その職場で努力して、社会に役立つ人になりたいと思います。入学してからお世話になっているみなさまに感謝いたします。これから三年間よろしく願っています。



チャン テ アン
TRAN THE ANH
(ベトナム)

◆ビジネス・コミュニケーション科
四国大学に入学する前、大学生活はどんなものかと心配することがたくさんありました。しかし、先生方は優しく、熱心に日本語や文化などを色々教えてくださいました。また、日本人の学生さんも積極的に声をかけてくれ、留学生たちと一緒に授業を受けて、毎日が素晴らしい日になっています。入学してからの一ヶ月が早く過ぎ、すぐに大学生活に慣れるようになったのは、四国大学のおおかげです。学内も綺麗で様々な教室があって、勉強したり、サークルなどの自分の趣味を楽しんだりすることもできます。ビジネスコミュニケーションを勉強しているので、もっとコミュニケーション力を高めたいと思っています。そのために、たくさん友達を作って、知識をもっと身につけて、将来は日本で就職できるように、先生方とみんなと共に頑張りたいと思います。

全学球技大会 爽やかな晴天の下 学科が団結!!

恒例の全学球技大会が平成29年5月16日(火)に開催され、体育館で3競技、日ノ上運動場で3競技、吉野川北岸グラウンドで1競技に、1,400名を超える学生が参加しました。

本大会は今年度最初の全学研修行事であり、新入生にとってはクラスメイトや先生方、先輩たちと触れ合い、クラスの団結を図る良い機会となりました。

晴天に恵まれ、早朝から多くの学生が詰めかけ、盛大に開会式が実施されました。その後、各会場に分かれてそれぞれの競技で熱戦が展開され、盛況のうちに無事終了することができました。

全学球技大会を開催するにあたり、ご協力いただきました実行委員の皆さん、教職員の方々、ありがとうございました。試合結果は表のとおりです。

平成29年度全学球技大会試合結果

参加者総合 1,437名

競技種目	優勝	準優勝	エントリー数	参加数
バスケットボール	男子 児童学科4年B組	経営情報学科1年	8チーム	54
	女子 管理栄養士養成課程3年	児童学科1年A組	23チーム	161
ソフトバレー	管理栄養士養成課程1年B組	経営情報学科3年	56チーム	306
ソフトボール	児童学科3年A組	経営情報学科1年	19チーム	278
ドッジボール	管理栄養士養成課程3年	短大ビジネス・コミュニケーション科1年	23チーム	279
サッカー	経営情報学科1年	国際文化学科2年	18チーム	129
卓球	男子 生活科学科3年(畑・梶村組)	生活科学科4年(長町・眞鍋組)	13ペア	26
	女子 管理栄養士養成課程2年(篠原・大家組)	生活科学科2年(藤田・丸山組)	76ペア	152
ソフトテニス	男子 国際文化学科3年(横山・本田組)	児童学科2年(安部・川田組)	7ペア	14
	女子 児童学科1年(古川・山瀬組)	看護学科1年(田上・仁木組)	19ペア	38



芳藍賞受賞のよろこび



森下よう子

■この度は名誉ある賞を戴き大変嬉しく思います。成し遂げる事の喜びと、親身にご指導いただいた先生方や学友など、2年間の思い出に深謝し、その温かい眼差しを胸に、これからは私らしい社会貢献を目指して努力してまいりたいと思います。



廣岡 美幸

■この度は芳藍賞という名誉ある賞を頂き、大変嬉しく思っております。先生方をはじめ、たくさんの方が支えてくださったおかげです。本当にありがとうございました。仕事と大学を両立させることは予想していた以上に大変でしたが、とてもよい経験になりました。在学生の皆さんが充実した学生生活を送られることを心からお祈り申し上げます。



渡邊 舞子

■この度はこのような名誉ある賞をいただき、光栄であり、嬉しく思います。大学院に進学をし、様々な分野の勉強をしました。本当に1からのスタートでしたが、先生方の熱心なご指導のおかげで、知識や技術が身につくことができ、この賞をいただくことができました。とても感謝しています。院で学んだことを糧に、養護教諭として邁進していきます。



尾田 由香

■この度、芳藍賞という名誉ある賞をいただきありがとうございました。これもひとえに先生方の指導とご配慮のおかげです。社会人と大学生、母親の三足のわらじは大変でしたが、大学院の学びが実践ですぐ生かせる楽しさが活力となりました。この学びをさらに深めるように新たな目標に向かって頑張っていきたいと思います。



山下 夏葉

■この度「芳藍賞」をいただきましたこと、心より光栄に存じます。あれよあれよという間に過ぎた4年間。ふと目を閉じれば、1年生の夏、友人たちと夜中まで試験対策を練った日を思い出します。そのうち他愛もない雑談になり、ひとしきり笑ってから眠ったのも懐かしく幸福な思い出です。四国大学で良き出会いに恵まれ、温かい環境で勉学に集中できたことに感謝し、この経験を支えとし、今後も一層努力を重ねていきます。



安原美保子

■井の中の蛙大海を知らず。これは入学当初の私にぴったりの言葉でした。様々な展覧会で大賞を受賞している同級生に対し、初めて「書道で勝てない」と感じました。それ以来私は、勉学でトップを走ることを目標に掲げた為、芳藍賞受賞の知らせを聞いた時は、努力が報われた、と素直に感じ、喜びました。置かれた場所で、どんな小さなことでも、全力で取り組むという根本的なことを再認識させてもらいました。



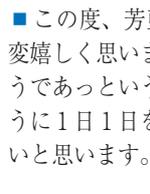
安村 早織

■この度、芳藍賞を受賞させて頂きありがとうございました。振り返ってみると大学生活というのは一瞬一瞬が楽しくて、私にとって大切な時間でした。4年間というのはあっという間に過ぎていきます。目標ややりたい事があるのなら積極的に行動して、悔いのないよう過ごしてください。そして皆さんの思い出を作ってください。



小林 加奈

■この度は、芳藍賞という素晴らしい賞を頂き、大変うれしく思います。私は、ボランティア活動や研究活動に取り組み、全国の学生との交流や学会発表で海外に行くなど、とても貴重な経験をさせて頂きました。自分の学生生活をどのように過ごすかを決めるのは、自分次第だと思います。ぜひ、色々なことに取り組んでみてください。



前坂垂梨沙

■この度、芳藍賞という素晴らしい賞をいただいたことを大変嬉しく思います。私にとって四国大学での4年間は、長いようであっという間でした。在校生の皆さんには、後悔のないように1日1日を大切に過ごして充実した大学生活を送ってほしいと思います。この度は本当にありがとうございました。



谷 真歩

■芳藍賞に受賞していただき、本当に嬉しく思います。在学中は管理栄養士国家試験合格に向け日々勉学に励んでおりました。1年生から目標に向け、努力してきた結果が実ったのだと思いました。また、勉学だけでなくサークル活動にも力を入れておりましたので、充実した4年間を過ごすことができました。周りの先生や友達、環境への感謝の気持ちを忘れずに後輩の皆さんにも努力することを続けていってほしいと思います。



今川 愛理

■この度は「芳藍賞」という素晴らしい賞を頂き、大変嬉しく思います。私の4年間の大学生活はすごく充実したものでした。熱心にご指導して下さった先生方や、支えてくれた友人に感謝するとともに、こんな素敵な方々に出会えた事だけでも四国大学に入学して良かったと思います。後輩の皆さん、大学生活は本当にあっという間なので、自分のやりたい事を見つけ、充実したものにして下さい。



中川万理子

■私は大学在学中に、講義や実習、手づくりおもちゃクラブでの活動で様々な経験ができ、充実した日々を過ごせました。多くの人に支えられ、人とつながる大切さを実感しました。これからも周りの人への感謝を忘れず、採用された町で保育士・幼稚園教諭として努力を重ねていきます。この度は芳藍賞という素晴らしい賞を頂き、本当にありがとうございました。



秋草ゆかり

■この度は芳藍賞という名誉ある賞を頂き、大変嬉しく思います。4年間の大学生活は学業やサークル活動、かけがえのない仲間との出会いなど非常に充実したものでした。また、指導して下さった先生方、応援してくれた家族に感謝の気持ちで一杯です。在学生の皆さんには友達や指導して下さる先生方に感謝し、1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。



上原あやめ

■私は、助産師を目指し入学しました。入学当初は、不安でいっぱいでしたが、新しい仲間と出会い、先生方に支えられ、看護という専門的な学習、実習等を通し学んでいく中で、知識・技術・判断力が身に付き自己成長できたことを実感します。特に、4年次の助産師専攻時には、なかなか上手い出来ないことも多く仲間を支えられ、共に切磋琢磨し励み、乗り越えられたことは私にとって財産です。



安宅 由貴

■この度はこのような素晴らしい賞を頂き、大変嬉しく思います。2年間という短い学生生活ではありましたが、悔いなく送ることが出来たのは熱心に指導して下さいました先生方がいたからです。これからは四国大学で学んだことを活かし社会に貢献していきます。本当にありがとうございました。



高木 陽菜

■この度は芳藍賞という名誉ある賞を頂き、大変嬉しく思います。2年間という短い間ではありましたが、勉学以外にも芳藍祭や球技大会などたくさんの楽しい思い出を作る事ができました。
私が無事卒業できたのも、たくさんの方の支えあってこそです。感謝の気持ちを忘れず、これからはお世話になった方々に恩返しをしていきたいです。



井内 和代

■四国大学での2年間で、改めて学ぶことの楽しさを感じることができました。学びのスタートは「知りたい」と思うことであり、知ろうとする事が、学ぶことだと思います。こうした知りたい思いを支える環境が整った四国大学での学生生活であったからこそ、学ぶ楽しさを感じながら有意義に過ごすことができたと思います。



江村 友希

■この度は、芳藍賞という名誉ある賞を受賞し、大変嬉しく思います。2年間の学生生活は本当に楽しかったです。もちろん実習や表現人、就職活動など忙しかったこともたくさんありました。それでも無事に卒業できたのは、支えてくださった家族や先生方、友達のおかげです。充実した学生生活を送ることができました。



青山 朋子

■一度社会に出てからの入学だったため不安な部分も多かったのですが、たくさんの仲間と先生方、音楽科じゃないと出会えなかった人たちののおかげで成長することができました。音楽科に来て、やっぱり音楽が大好きなんだと再認識できました。初心を忘れず、向上心を常に持って将来につなげていきたいです。



角石 理奈

■大学時代は、吹奏学部の活動や資格取得、二科展への出品など様々なことに全力で取り組んできました。大変なこともありましたがその分得たものは多く、大きく成長できた大学生活でした。そして、周りで支えてくださった多くの方には心より感謝しています。後輩の皆さん、失敗を恐れず、ぜひ色々なことに挑戦してみてください。



福見 智子

■私は大学4年間、弓道部に所属していました。大学生活を送る上で、勉学と部活の両立は大変でしたが、親はもちろん、大学からの支援のおかげで充実した大学4年間を過ごすことができました。大学生活で経験することは、社会人になっても役立つことばかりだと思います。残された大学生生活の1日1日を大切にしていって下さい。



居川 汐里

■私は、この4年間で多くの方に支えられ、支援していただいたおかげで大好きなハンマー投を続けられ結果を残す事ができました。卒業した今、4年間を振り返ると本当に感謝する事ばかりです。この素晴らしい大学で4年間学び陸上のできた事に幸せを感じます。また、芳藍賞という名誉ある賞をいただいた事は私の誇りであり、社会人として歩む自信となりました。本当にありがとうございました。



辻 紀子

■私の大学生活は“努力”よりも“挑戦”という言葉の似合う4年間だったと思います。より強く、より美しい弓道を求め、昨日の自分を越えられるよう日々取り組んできました。その集大成として芳藍賞という身に余る栄誉を頂いたこと、大変光栄に感じております。“好きこそ物の上手なれ”とよく言いますが、後輩のみなさんも毎日が輝くような“好き”に出逢えるようお願いしております。この度は本当にありがとうございました。

平成28年度 芳藍賞受賞者

【学業・研究の分野】

〈大学院〉

- 1 大学院文学研究科国際文化専攻修士課程 2年 森 下 よう子
- 2 大学院経営情報学専攻博士前期課程 2年 廣 岡 美 幸
- 3 大学院人間生活科学研究科人間生活科学専攻修士課程 2年 渡 邊 舞 子
- 4 大学院看護学研究科看護学専攻修士課程 2年 尾 田 由 香

〈大 学〉

- 1 文学部日本文学科 4年 山 下 夏 葉
- 2 文学部書道文化学科 4年 安 原 美保子
- 3 文学部国際文化学科 4年 安 村 早 織
- 4 経営情報学部経営情報学科 4年 清 水 康 弘
- 5 経営情報学部メディア情報学科 4年 小 林 加 奈
- 6 生活科学部生活科学科 4年 前 坂 亜梨沙
- 7 生活科学部管理栄養士養成課程 4年 谷 真 歩
- 8 生活科学部管理栄養士養成課程 4年 今 川 愛 理
- 9 生活科学部児童学科 4年 中 川 万理子
- 10 生活科学部児童学科 4年 矢 野 幸 恵
- 11 看護学部看護学科 4年 秋 草 ゆかり
- 12 看護学部看護学科 4年 上 原 あやめ

〈短期大学部〉

- 1 短期大学部ビジネス・コミュニケーション科 2年 安 宅 由 貴
- 2 短期大学部人間健康科食物栄養専攻 2年 高 木 陽 菜
- 3 短期大学部人間健康科介護福祉専攻 2年 井 内 和 代
- 4 短期大学部幼児教育保育科 2年 江 村 友 希
- 5 短期大学部音楽科 2年 青 山 朋 子

【芸術・スポーツ・その他の分野】

〈芸術〉

- 1 文学部書道文化学科 4年 後 迫 里 保
- 2 文学部書道文化学科 4年 山 村 加奈美
- 3 生活科学部生活科学科 4年 角 石 理 奈

〈スポーツ〉

- 1 文学部日本文学科 4年 福 見 智 子
- 2 経営情報学部経営情報学科 4年 居 川 汐 里
- 3 生活科学部児童学科 4年 辻 紀 子

〈その他〉

該当者なし

地域教育プログラムの体系化

— 新しい地域教育を目指して —

平成26年度から実施している「教育改革プログラム2014」において、これからの社会を担い新しい時代を切り拓いて社会をリードする人材を育てるために、教育課程を改訂し、教育内容や教育方法などの改革を進めています。

本学が進める教育改革の中で、これからの地域社会で地域創生を担う若い世代が必要なるものを体系的に整理して、「四国大学地域教育プログラム」を作成しました。

この地域教育プログラムは、地域教育分野の「全学共通科目」、学生の自主的活動を基にした「自由科目」、地域志向型の「専門科目」及び新「あわ学」への取り組みなどの「地域研究」で構成されており、それぞれの内容がつながりを持つ、新しい地域教育を目指した構成となっています。



地域教育プログラムの流れ



「きみのやる気を応援します！」

平成28年度学生支援GP活動報告会開催 平成29年度募集も始まる

平成29年4月18日（火）に、本学の共通講義棟 R 101・102教室にて、学生支援GP報告会を開催しました。平成28年度学生支援GPに教育研究活動及び、社会・地域貢献、大学関連グッズの開発等に関わる学生の自主的な取り組みが16プロジェクト採択され、昨年6月中旬より活動が行われました。

報告会では、400人を超える在学生および教職員の前で、今回のプロジェクト活動内容の報告・今後の課題・後輩たちへのメッセージを含めて発表しました。

参加者からは「どのプロジェクトも参加者が生き生きしていた。」「ジャンルが多彩で自分も参加してみたい。」「各学科の特色が出て良かった。」「後輩へのメッセージを直に聞いて励みになった。」「自分の得意分野で地域活性に貢献できて素晴らしいと思った。」などの声が上がっており、今後の学生生活のモチベーション向上にもつながる報告会となりました。

四国大学学生プロジェクト支援事業（学生支援GP※）とは、四国大学（短期大学部を含む）において、学生が自主的に取り組む教育研究、課外活動及び社会・地域貢献などに関わるプロジェクトを支援し、学生の創造性や自主性を高め、人間的成長を促すことを目的とした支援事業です。
※ GPとは「Good Practice（優れた取り組み）」の略です。

No	プロジェクト名	グループ
1	四国大学発 ブックトークプロジェクト ～みんなのえほん～	日本文学・文学研究科
2	よみがえれ！地域の文化遺産 ～四国大学発信～	日本文学科
3	届け書道の魅力!! ～かざまーる×地域活性化～	書道文化学科
4	四国大学 Magazine Project ～して大生による、して大生のための情報誌をお届けします！～	国際文化学科
5	四国大学発 国際交流サークル ～教室を飛び出せ！地域に広げる国際交流の輪～	国際文化学科
6	あすたむらんど徳島クリスマスイベント2016	経営情報学科
7	スタジアム学園祭2016	経営情報学科
8	徳島に行ってみよう ～僕たちが伝える徳島の魅力～	5学科合同(国際・経済・メディア・児童・管楽)
9	四国大学PRグッズ開発プロジェクト ～しこぼんワールド～	生活科学学科
10	動いてみよう！地域には何が待っている？～地域貢献GZ～	四国大学ゴールデンZクラブ
11	子育て応援パフォーマンス キャラバン隊	児童学科
12	こまった訓 in 四国大学2016	ボランティア支援室
13	児童学科つなげ隊	児童学科
14	「Enjoy the dance」～ダンスは人の心と心つなぐ～	児童学科
15	にこにこサポーターによるスマイル大作戦	幼児教育保育科
16	文化祭お助け隊！～中学校・高等学校でバンド演奏のお手伝いをします～	音楽科



学長あいさつ



四国大学発ブックトークプロジェクト
～みんなのえほん～



四国大学PRグッズ開発プロジェクト
～しこぼんワールド～



徳島に行ってみよう
～僕たちが伝える徳島の魅力～

キャリア教育について - 悩みは人生の肥やし -

キャリア教育支援課 渡部 俊彦

近年、産業構造の変化や雇用の多様化・流動化など、社会全体が大きく変化するなか、職業に関する興味・関心や進路の多様化により、就職のミスマッチ、職業人としての基本的な能力の低下や勤労観・職業観の未熟さや確立の遅れ、目的意識が希薄なまま就職する者の増加などから、キャリア教育の充実が望まれています。人間はどうして働かなければならないのか、自分にとっての適職は何か、この社会にはどのような職種があるのか等について考える機会を提供し、その機会を利用して、学生一人ひとりがそれぞれの経験を活かして将来設計をし、自分の生活を見つめ、「私の労働を喜びとする他者がいる」と実感できる生き方考えるのがキャリア教育です。

本学では平成26年度よりキャリア教育の充実のため新しいキャリア科目を設け、「就業力育成カリキュラムマップ」により、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら「自分らしい生き方」を実現する力をつけるためのカリキュラムをスタートさせました。このように「学生が社会人・職業人として自立できる力」すなわち「就業力の育成」に焦点を当てた教育を進めています。さらに、キャリアセンターでは、1年次より様々なプログラムを実施し、各種ガイダンス、セミナー等を通じた進路の見極めへの学習を進め、学生の可能性を広げ、伸ばす支援をしています。年2回実施している就業力育成セミナー（写真1）やジョブカフェ（写真2）もその一環です。また、教員・公務員試験対策講座の計画・実施や受講に関する相談、外部専門家の臨床心理士を中心としたキャリアカウンセリングの実施等（表1）、キャリアセンター教職員総出で、学生一人ひとりを全面的にバックアップしています。

皆さんにお願いしたいのは、「悩み」を自分一人で抱え込まないことです。学校生活だけでなく社会生活においても様々な壁にぶつかり、悩みを抱えることが多々あります。そんな時必要なことは一人で抱え込まずに、様々な人に相談することです。自分の思いを吐露し、その人しっかり聞いていただき、何らかのアドバイスをいただいて取捨選択し自分で判断することが肝心です。

私たちが皆さんの心に寄り添い、誠意を持って聴き、何らかのアドバイスができるようにしたいと思います。皆さんが一步一步確実に歩み、大学生活が有用なものとなることを期待するとともに、私たちが共に歩むことをお約束します。

表1

◎キャリア相談

武田 知也 先生
毎週月・金曜日 13:00~17:00

百々 恵子 先生
毎週水曜日 13:00~17:00

◎就職相談

ハローワークの方
毎週月・水曜日 13:00~16:30

瀬尾 ふみ 先生
毎週火・木曜日 13:00~17:00

写真1



第10回就業力育成セミナー

写真2



ジョブカフェ

学校法人四国大学 平成28年度決算及び29年度予算

1 資金収支計算書

(収入の部) (単位: 千円)

科目	平成28年度決算	平成29年度予算
学生生徒等納付金収入	3,121,200	3,274,694
手数料収入	40,730	38,816
寄付金収入	5,327	4,000
補助金収入	782,488	719,544
資産売却収入	375,612	400,000
付随事業・収益事業収入	82,959	121,014
受取利息・配当金収入	105,126	92,800
雑収入	230,517	187,388
借入金等収入	600,000	280,000
前受金収入	692,221	685,095
その他の収入	1,612,035	1,116,132
資金収入調整勘定	△950,830	△817,333
前年度繰越支払資金	2,518,401	2,739,535
収入の部合計	9,215,787	8,841,685

(支出の部)

科目	平成28年度決算	平成29年度予算
人件費支出	2,697,024	2,740,463
教育研究経費支出	758,485	884,106
管理経費支出	193,724	220,802
借入金等利息支出	3,477	4,278
借入金等返済支出	175,672	226,922
施設関係支出	919,170	657,400
設備関係支出	138,901	88,085
資産運用支出	648,075	656,700
その他の支出	951,426	817,461
予備費	26,000	26,000
資金支出調整勘定	△307,123	△170,233
次年度繰越支払資金	3,036,955	2,689,701
支出の部合計	9,215,787	8,841,685

*上記の表の金額は千円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合があります。

*学校法人会計基準の一部改正により、平成27年度予算から様式等が変更されました。

2 事業活動収支計算書

(単位: 千円)

科目	平成28年度決算	平成29年度予算
学生生徒等納付金	3,121,200	3,274,694
手数料	40,730	38,816
寄付金	5,327	4,000
経常費等補助金	700,070	695,544
付随事業収入	81,496	119,551
雑収入	236,352	187,388
教育活動収入計	4,185,175	4,319,993
人件費	2,653,776	2,754,171
教育研究経費	1,213,082	1,356,661
管理経費	245,975	276,531
徴収不能額等	5,000	5,000
教育活動支出計	4,117,834	4,392,363
教育活動収支差額	67,341	△72,370
受取利息・配当金	105,126	92,800
その他の教育活動外収入	1,463	1,463
教育活動外収入計	106,589	94,263
借入金等利息	3,477	4,278
教育活動外支出計	3,477	4,278
教育活動外収支差額	103,111	89,985
経常収支差額	170,453	17,615
資産売却差額	39,237	55,000
その他の特別収入	89,872	24,000
特別収入計	129,109	79,000
資産処分差額	29,261	0
その他の特別支出	68,225	68,225
特別支出計	97,486	68,225
特別収支差額	31,623	10,775
[予備費]		26,000
基本金組入前当年度収支差額	202,075	2,390
基本金組入額合計	△445,313	△545,221
当年度収支差額	△243,238	△542,831
前年度繰越収支差額	1,994,521	1,634,014
翌年度繰越収支差額	1,770,800	1,091,183

3 貸借対照表

(資産の部) (単位: 千円)

科目	平成28年度末
固定資産	28,733,134
有形固定資産	18,841,260
特定資産	9,564,104
その他の固定資産	327,771
流動資産	3,347,620
資産の部合計	32,080,754
(負債の部)	
固定負債	2,002,465
流動負債	1,269,882
負債の部合計	3,272,347
(純資産の部)	
基本金	
第1号基本金	25,949,414
第2号基本金	519,424
第3号基本金	312,231
第4号基本金	256,537
基本金合計	27,037,607
繰越収支差額	1,770,800
翌年度繰越収支差額	1,770,800
純資産の部合計	28,808,407
負債の部及び純資産の部合計	32,080,754
減価償却額の累計額の合計	7,763,310
徴収不能引当金の合計	5,000
基本金未組入額	1,379,781

第68回 四国地区大学総合体育大会(四国インカレ)

— 4年に1度の徳島県開催 会場で応援を! —

第68回四国地区大学総合体育大会が平成29年6月17日(土)～7月9日(日)の期間、徳島県内各会場で開催されます。本学からは13競技に275名が参加します。団体競技では昨年度優勝の女子バスケットボール部、準優勝の男女弓道部、今年度強化指定された女子ソフトテニス部。個人競技でも水泳、弓道、陸上競技、女子ソフトテニス部を中心に上位進出が期待されます。今年度は4年に一度の徳島県開催なので、会場に足を運び応援しましょう。本学参加競技の日程・会場は下表の通りです。



四国インカレ日程・会場一覧 (四国大学生出場種目のみ)

競技	日時	会場
水泳	6月17日(土)・18日(日)	J Aバンクちよんぎょプール
バスケットボール	6月24日(土)・25日(日)	鳴門・大塚スポーツパーク アミノハリュールホール
サッカー(男子)	6月24日(土)・25日(日)	四国大学しらさぎ球技場、徳島スポーツビレッジ
ソフトテニス	6月30日(金)～7月2日(日)	J Aバンクテニスプラザ
バドミントン	6月30日(金)～7月2日(日)	徳島市立体育館
陸上競技	7月7日(金)・8日(土)	鳴門・大塚スポーツパーク ポカリスエットスタジアム
軟式野球	7月7日(金)～9日(日)	徳島市民吉野川運動広場 南岸野球場
硬式庭球	7月7日(金)～9日(日)	大神子テニスセンター
弓道	7月7日(金)～9日(日)	鳴門・大塚スポーツパーク 弓道場
フットサル(女子)	7月8日(土)	徳島市立スポーツセンター
バレーボール	7月8日(土)・9日(日)	徳島市立体育館
フットサル(男子)	7月8日(土)・9日(日)	徳島大学常三島体育館
ソフトボール	7月8日(土)・9日(日)	徳島市民吉野川北岸運動広場 ソフトボール場
少林寺拳法	7月9日(日)	四国大学体育館

学生寮・国際寮合同防災訓練

5月13日(土)、前日および当日朝まで雨が降りましたが、寮生を声援するかのようになり、実際に雨も上がり、水消火器による消火訓練、起震車による地震体験訓練を実施しました。

学生寮78名・国際寮23名の合計101名の合同訓練を行いました。

国際寮の留学生は起震車を見るのも、乗るのも初めてのような様子でした。地震の震度や揺れ方の違いを初体験しました。震度7の揺れでは足元がすくわれ、頑丈な物に必死でしがみつきおさまるまで耐えていました。

有事の際には、寮生自身で身を守り、互いに助け合い、全員無事避難することを心掛け今後、年間をとおして何回もの避難訓練を体験することになっています。

その後、国際寮も交え、先輩率いるレクリエーションでゲームを楽しいひと時を過ごし交流を深めることができました。



平成30年度 入試日程

●推薦入試・一般入試

推薦入試	一般入試		
	I 期	S 型	II 期
11 / 4 (土)	2 / 1 (木)	2 / 16 (金)	3 / 6 (火)

●大学入試センター試験利用入試

試験日	出願締切日		
	前期	中期	後期
1 / 13 (土)・14 (日)	2 / 8 (木)	2 / 28 (水)	3 / 14 (水)

●AO入試(体験型)(面談日)

①	②	③	④	⑤
6 / 18 (日) (短期大学部のみ)	7 / 17 (月・祝) (短期大学部のみ)	8 / 6 (日)	8 / 26 (土)	9 / 18 (月・祝)

※管理栄養士養成課程および看護学科は実施しません

●AO入試(自己推薦型)(面談日)

I 期	II 型	III 期
9 / 24 (日)	12 / 9 (土)	3 / 21 (水・祝)

●スポーツ分野特別入試

I 期	II 型	III 期
9 / 24 (日)	12 / 9 (土)	2 / 17 (土)

※看護学科は実施しません

●芸術分野特別入試

I 期	II 型	III 期
9 / 24 (日)	12 / 9 (土)	2 / 17 (土)

出願の資格や入試日程など、詳細は四国大学ホームページ(<https://www.shikoku-u.ac.jp>)でご確認ください。

見つけよう、君の未来。オープンキャンパス Open Campus 2017

開催日程	開催日	時間
第1回	2017年3月18日(土)	10:00～16:00
第2回	2017年6月18日(日)	10:00～16:00
第3回	2017年7月17日(月・祝)	10:00～16:00
第4回	2017年8月6日(日)	10:00～16:00
第5回	2017年8月26日(土)	10:00～16:00
第6回	2017年9月18日(月・祝)	10:00～16:00

参加希望日の直前の金曜日(必着)までに、はがき、ホームページ、電話またはFAXで、高校名、氏名、希望学科を連絡してください。
申込先
 〒771-1192 徳島市応神町古川 四国大学 広報課
 ☎ 0120-65-9906(平日9:00～17:30) FAX 088-665-9907
 URL <https://www.shikoku-u.ac.jp/>



第57回 芳藍祭 ニーマ決定!!

今年の「空前絶後の! 超絶怒濤の芳藍祭」
 テーマは「楽しむことはジャスティス!!」です。

5月より実行委員会を開催し、本番に向けて活動が始まりました。

開催日: 11月10日(金)～12日(日)